

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	運営支援室
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	
	取組方針	心身の成長への支援		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	スポーツ士派遣事業			

【事業全体概要】

事業概要	保育施設等にスポーツ指導者を派遣し、就学前の子どもが遊びを通じて、体を動かす楽しさを味わいながら、体力向上と運動習慣の定着につなげる。				
年度概要	スポーツ士派遣施設 22施設 親子運動教室参加施設 15施設 保育教育士を対象とした指導方法の実技研修 2日間実施				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	

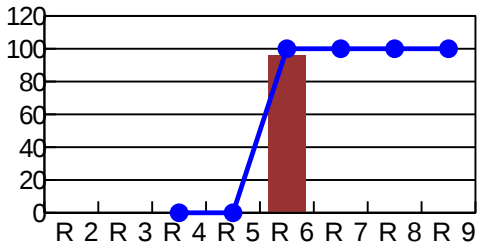
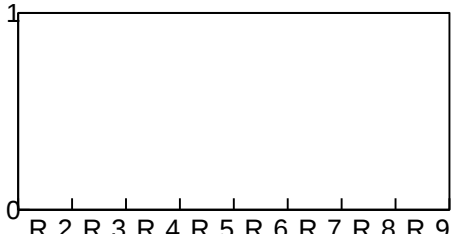
【事業の目的】

対象（何を）	高松市内公私立保育所・こども園、公立幼稚園
意図（どのような状態にしたいか）	スポーツ士を市内の保育施設に派遣し、園児との運動遊びや保育教育士等を対象とした実技指導研修、親子運動教室の実施などに取り組むことで、より質の高い保育の提供につながり、児童の運動習慣の定着や体力向上に寄与する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	スポーツ士派遣施設数	施設	0	0	18	22	30

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
	児童の運動習慣の形成につながったと感じた割合		%	目標値	0	0	100	100	100	
				実績値	0	0	96.2			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	本事業参加施設のうち回答のあった、26施設のうち25施設が、「つながっている」、「ややつながっている」と回答しており、おおむね目標を達成した。		(目標達成度)		96.2%					
(得点)			34点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	0	0	2,025	2,234
(事業費)	[千円]	0	0	481	690
(職員人件費)	[千円]	0	0	1,544	1,544

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	スポーツ士派遣施設 18施設 親子運動教室参加施設 10施設 保育教育士を対象とした指導方法の実技研修 2日間実施	事業費 481千円 内訳 民生費 364千円 教育費 117千円	総額	481	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	481	
令和 7 年度	スポーツ士派遣施設 22施設 親子運動教室参加施設 15施設 保育教育士を対象とした指導方法の実技研修 2日間実施	事業費 690千円 内訳 民生費 552千円 教育費 138千円	総額	690	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	690	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

市全体の幼児に向け派遣施設の拡充や保育所等において幼児を指導できるスポーツ士の育成などが課題である。

スポーツの指導者不足から、スポーツ士の派遣を希望する全ての施設に派遣することができていないことから、関係団体とも情報共有を図りながら、新たな取り組みについても検討する。

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	運営支援室
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2368
	取組方針	配慮を要する子どもへの支援		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	発達障がい児等支援事業（運営支援室分）			

【事業全体概要】

事業概要	発達障がい等のあるケースに適切に対応するため、市内の公立保育所・こども園及び公立幼稚園に発達障がい児等支援員を配置し、早期に専門的な保育・教育支援や親子支援を行うとともに、専門家による継続した訪問支援を行い、具体的な指導を行うなど、関係機関と連携しながら適切な支援体制を整備する。				
年度概要	・公立保育所及びこども園 35 か所に 74 人、公立幼稚園 17 か所に 21 人、支援員を配置 ・発達障害児等支援体制構築事業 巡回支援員（専任）50 施設 150 回訪問 報告会の開催（4 回）教職員研修の実施				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

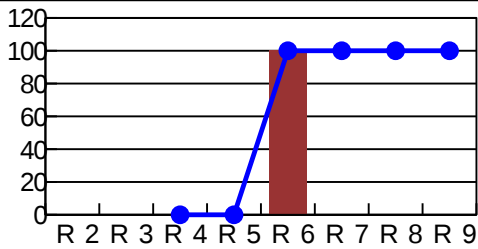
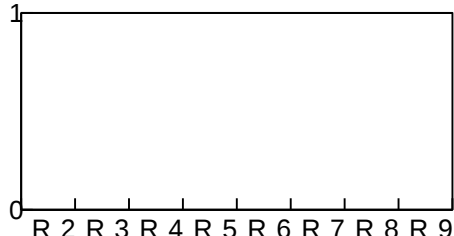
【事業の目的】

対象（何を）	市内の公立保育所・こども園及び公立幼稚園に在園する乳幼児
意図（どのような状態にしたいか）	主に、支援の必要性や緊急性の高い乳幼児を対象として、早期に対応し、生活上の介助や活動上の支援等を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
発達障がい児等支援員配置施設数	箇所	0	0	54	53	52

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	発達障がい児等支援員配置率	%	目標値 実績値	0 0	0 0	100 100	100	100
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	市内の公立保育所・こども園及び公立幼稚園において、すべての施設について支援員を配置できている。		（目標達成度） 100.0%					
			（得点） 35点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			（目標達成度）					
			（得点）					

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	145,146	202,473	325,437	360,563
(事業費)	[千円]	143,649	200,968	323,893	359,019
(職員人件費)	[千円]	1,497	1,505	1,544	1,544

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	・ 公立保育所及びこども園 3 5 か所に 7 4 人、公立幼稚園 1 8 か所に 2 1 人、支援員を配置 ・ 発達障害児等支援体制構築事業 巡回支援員（専任）4 5 施設 1 2 9 回訪問 報告会の開催（4 回）教職員研修の実施	事業費 3 2 3 , 8 9 3 千円 内訳 民生費 2 2 6 , 0 0 0 千円 教育費 9 7 , 8 9 3 千円	総額 323,893		
			特定財源	国	2,540
				県	1,270
				市債	0
				他	36,141
			一般財源 283,942		
令和 7 年度	・ 公立保育所及びこども園 3 5 か所に 7 4 人、公立幼稚園 1 7 か所に 2 1 人、支援員を配置 ・ 発達障害児等支援体制構築事業 巡回支援員（専任）5 0 施設 1 5 0 回訪問 報告会の開催（4 回）教職員研修の実施	事業費 3 5 9 , 0 1 9 千円 内訳 民生費 2 5 3 , 1 8 7 千円 教育費 1 0 5 , 8 3 2 千円	総額 359,019		
			特定財源	国	2,540
				県	1,270
				市債	0
				他	29,477
			一般財源 325,732		

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%～ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%～ 79%)					
	C (0%～ 59%)					

各施設に支援員を配置し、関係機関等と連携を図りながら、早期に対応することで、支援を必要とする乳幼児一人ひとりのニーズに応じた教育・保育環境を提供することができた。

当該事業のうち特に平成26年度から実施することになった発達障がい児等支援体制構築事業等の効果を分析し、より効率的な事業運営となるよう取り組みたい。